

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL https://ogc-jp.com/

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 風間 卓

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,062	20.3	87		28		45	
2023年3月期第3四半期	3,844	6.2	155	149.6	171		140	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 36百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 149百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	1.94	
2023年3月期第3四半期	6.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,958	1,497	18.8
2023年3月期	7,590	1,533	20.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,497百万円 2023年3月期 1,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	5.9	20	85.0	60	58.9	20	90.7	0.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	23,305,543 株	2023年3月期	23,305,543 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	29,870 株	2023年3月期	29,869 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	23,275,674 株	2023年3月期3Q	23,281,399 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、高インフレに伴う各国の金融引き締めが継続し、景気減速が懸念される状況となっております。米国では、堅調な個人消費に支えられ景気は緩やかに回復し、ヨーロッパ地域では、景気は弱含んでおり、中国では、不動産開発投資の減少と個人消費が振るわなかったことにより景気は減速しています。日本では、堅調な個人消費などにより景気は緩やかに持ち直しています。

当第3四半期連結累計期間において、世界的な物流混乱の解消と中国のゼロコロナ政策終了による部品在庫水準の正常化がプロジェクターメーカー各社で進み、また、それは概ね収束したものの、同時に、プロジェクター需要が、中国市場を中心に弱含みに推移し、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズの販売は減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,062百万円(前第3四半期連結累計期間比20.3%減)、経常損失28百万円(前第3四半期連結累計期間の経常利益は171百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失45百万円(前第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は140百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①光学事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,340百万円と前年同期と比べ470百万円(26.0%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は215百万円と前年同期と比べ107百万円(33.3%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比24.4%減少し、売上高は20.1%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で27.9%減少し、売上高は30.9%減少いたしました。

②照明事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は384百万円と前年同期と比べ170百万円(30.7%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は47百万円と前年同期と比べ26百万円(122.1%)の増益となりました。タッチパネルのカバーガラスの売上高が減少いたしました。

③機能性薄膜・ガラス事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は925百万円と前年同期と比べ76百万円(7.7%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は18百万円と前年同期と比べ115百万円(前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は97百万円)の減益となりました。

④その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は412百万円と前年同期と比べ64百万円(13.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は35百万円と前年同期と比べ26百万円(43.1%)の減益となりました。UV反射鏡の売上高が増加し、洗濯機用ドアガラスの売上高が減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて367百万円増加し、7,958百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ301百万円の増加となりました。この主な要因は、商品及び製品が226百万円増加し、仕掛品が176百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円の増加となりました。この主な要因は、本社工場(千葉県柏市)でのガラス溶融炉のフィーダー(溶融ガラス取り出し口)更新及び放熱基板製造装置の新設などにより機械装置及び運搬具(純額)が242百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ367百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ94百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が100百万円増加し、流動負債その他が161百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が111百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ309百万円の増加となりました。この主な要因は、長期借入金が332百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は404百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ36百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が45百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表しました2024年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「営業外収益の発生及び2024年3月期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,944	1,498,329
受取手形及び売掛金	1,047,619	1,071,104
商品及び製品	303,294	529,595
仕掛品	592,193	768,904
原材料及び貯蔵品	160,564	150,970
その他	175,762	101,255
流動資産合計	3,818,378	4,120,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,232,306	1,152,214
機械装置及び運搬具(純額)	849,012	1,091,106
土地	764,514	764,514
リース資産(純額)	123,830	103,846
建設仮勘定	503,820	433,788
その他(純額)	29,252	42,456
有形固定資産合計	3,502,737	3,587,928
無形固定資産	48,687	24,603
投資その他の資産		
投資有価証券	30,529	31,474
繰延税金資産	47,122	51,756
その他	143,306	142,346
投資その他の資産合計	220,959	225,577
固定資産合計	3,772,384	3,838,108
資産合計	7,590,763	7,958,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,588	225,957
短期借入金	820,000	920,000
1年内返済予定の長期借入金	683,989	648,868
リース債務	65,989	33,446
未払法人税等	27,667	25,113
賞与引当金	34,655	27,485
未払金	177,427	198,833
その他	73,435	235,227
流動負債合計	2,220,753	2,314,932
固定負債		
長期借入金	3,397,926	3,730,867
リース債務	84,362	56,988
繰延税金負債	40,507	40,896
退職給付に係る負債	235,517	238,818
資産除去債務	75,696	78,124
その他	2,192	500
固定負債合計	3,836,202	4,146,195
負債合計	6,056,956	6,461,128
純資産の部		
株主資本		

資本金	2,495,740	2,495,740
資本剰余金	734,225	734,225
利益剰余金	△1,771,855	△1,816,973
自己株式	△429	△429
株主資本合計	1,457,680	1,412,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,173	1,078
為替換算調整勘定	60,636	69,830
退職給付に係る調整累計額	13,257	13,614
その他の包括利益累計額合計	76,067	84,524
非支配株主持分	58	54
純資産合計	1,533,807	1,497,140
負債純資産合計	7,590,763	7,958,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	3,844,047	3,062,774
売上原価	2,660,274	2,100,281
売上総利益	1,183,772	962,492
販売費及び一般管理費		
役員報酬	69,370	74,910
給料及び手当	326,023	321,198
賞与	16,843	21,838
退職給付費用	13,607	10,651
減価償却費	69,824	60,914
旅費及び交通費	19,001	23,846
支払手数料	80,303	88,130
運賃	41,642	31,174
賞与引当金繰入額	5,904	10,598
研究開発費	79,380	101,886
その他	306,454	304,455
販売費及び一般管理費合計	1,028,355	1,049,606
営業利益又は営業損失(△)	155,416	△87,113
営業外収益		
受取利息	29	1,836
受取配当金	2,640	963
為替差益	38,283	30,438
助成金収入	22,856	53,308
その他	10,128	24,115
営業外収益合計	73,939	110,661
営業外費用		
支払利息	44,971	44,033
その他	12,888	8,079
営業外費用合計	57,859	52,112
経常利益又は経常損失(△)	171,495	△28,564
特別利益		
固定資産売却益	7	-
国庫補助金	-	90,040
特別利益合計	7	90,040
特別損失		
固定資産除却損	0	24
固定資産圧縮損	-	88,374
特別損失合計	0	88,398
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	171,503	△26,923
法人税等	31,057	18,199
四半期純利益又は四半期純損失(△)	140,445	△45,122
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	140,452	△45,118

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	140,445	△45,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,635	△1,094
為替換算調整勘定	6,946	9,194
退職給付に係る調整額	4,029	356
その他の包括利益合計	9,341	8,456
四半期包括利益	149,786	△36,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,794	△36,662
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,811,036	554,407	1,001,820	3,367,263	476,783	3,844,047
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,811,036	554,407	1,001,820	3,367,263	476,783	3,844,047
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,811,036	554,407	1,001,820	3,367,263	476,783	3,844,047
セグメント利益	322,576	21,442	97,321	441,340	61,948	503,289

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	441,340
「その他」の区分の利益	61,948
全社費用(注)	△347,872
四半期連結損益計算書の営業利益	155,416

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,340,913	384,270	925,106	2,650,290	412,483	3,062,774
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,340,913	384,270	925,106	2,650,290	412,483	3,062,774
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,340,913	384,270	925,106	2,650,290	412,483	3,062,774
セグメント利益又は セグメント損失(△)	215,190	47,613	△18,183	244,621	35,224	279,845

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	244,621
「その他」の区分の利益	35,224
全社費用(注)	△366,958
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△87,113

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。